

#28 リビング活用術

最旬リビングのキーワードは、ゆるやかにつながる。

リビングといえば、暮らしの中心。いつも心地よく過ごせる場所でありたいですね。じつはそんなリビングでのくつろぎ方が、最近、少し変化してきています。以前は家族揃ってテレビを観たり、会話を楽しむという「一緒にする」スタイルが主流でしたが、今は「一緒にする」よりも「一緒に居る」スタイルを重視される方が増えてきています。同じ部屋で過ごしながら思い思いにくつろぐ、なんとなく家族の気配を感じながら自分の時間を楽しむ…。そんな「ゆるやかにつながるリビング」の人气が上昇中です。今号では、一緒に居ながら自分時間を楽しむためのリビング活用術をご紹介します。



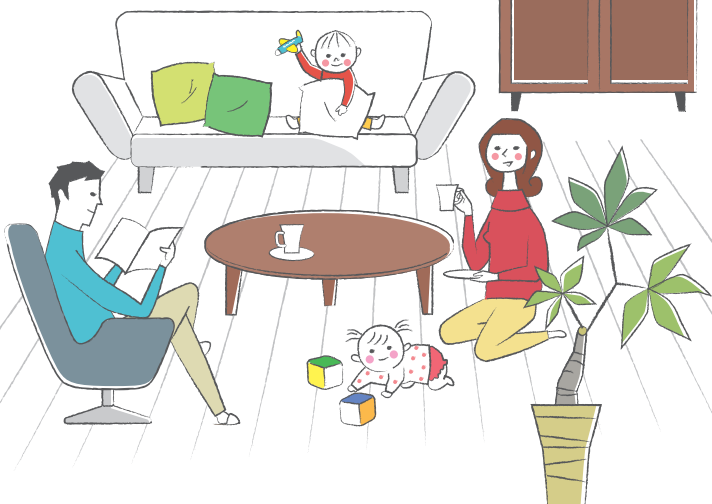
家族を感じながら
好きなことを楽しむ
そんな気ままなスタイルが
リビングの居心地を高めます

一緒に居ること＝時間の共有が大切。

ふだん、皆さんはリビングでどのように過ごされていますか。幼い子どもたちのいるご家庭では、一緒にお絵描きをしたりゲームを楽しんでいる方も多いでしょう。でも、子どもたちが成長するにつれて、それぞれが自分の時間の充実を求めようになってしまう。家族みんなで何かをするという過ごし方は徐々に減っていくのが自然です。

ライフステージによってリビングでの過ごし方は変化し、リビング空間に必要な役割や工夫も違ってくると言えます。

とくに最近では、自分の時間＝個室という捉え方ではなく、家族と一緒に居ながら自分の時間を楽しむというスタイルを求める方が多くなってきています。個室は睡眠と勉強などに集中したいときの空間、わが家のくつろぎの中心はリビング。だからこそ、リビングを充実させたいという思いが強まってきています。なんとなく一緒に居る、自然と家族が集まっている。家族が同じ時間を共有することで、やすらぎややすみを感じる。それがリビングの居心地の良さを高める大切な要素にもなります。



家族それぞれの理想のくつろぎ方をチェック。

今の住まいに引越してきてから何年が経過しましたか。その期間で子どもたちも成長してライフステージも大きく変わってきたのではないのでしょうか。わが家のくつろぎ方が以前とは違ってきたかなと感じたら、リビングを見直すタイミングかもしれません。

まず今とこれからの理想のくつろぎスタイルをイメージしてみるのが第一歩。家族みんなはどう過ごすのが楽しいだろうか、自分自身はどのようにくつろいでいきたいか…。いろんな側面からイメージを広げてみましょう。「理想のリビング・イメージチェック」をご紹介しますので、ぜひ試してみてください。これから新しい住まいを検討される方も、リビングづくりの参考にしてみてください。

理想のリビング・イメージチェック

あてはまる項目をすべてチェックして、その数を合計してください。あなたのリビング関心度や気になるテーマが見えてきます。合計 個
診断結果は次ページをご覧ください。

A リビングでのくつろぎスタイルは？

- ソファでゆったり過ごしたい
 - 自分の特等席がほしい
 - ごろんと横になりたい
 - 自然の光や風を感じて過ごしたい
 - カフェのようにお茶を楽しみたい
- ↓ 計 個

B 家族とのコミュニケーションは？

- リビングで賑やかに集っていたい
 - いつも家族の気配を感じていたい
 - 食後も会話が途切れないようにしたい
 - キッチンからリビングを見渡したい
 - 家族の伝言板がほしい
- ↓ 計 個

C リビングで何を楽しまたいですか？

- 大画面で映画やスポーツ観戦をしたい
 - パソコンやゲームを楽しみたい
 - 落ち着いて読書をした
 - 趣味を楽しみたい
 - ホームパーティーを開きたい
- ↓ 計 個

D くつろぎや楽しみ以外にしたいことは？

- 仕事や勉強をしたい
 - 運動やストレッチをしたい
 - 子どもの宿題や勉強をみたい
 - 家事をこなしたい
 - 身支度やスキンケアをしたい
- ↓ 計 個

E インテリアで気になることは？

- わが家らしい雰囲気高めたい
 - お気に入りの絵や小物を飾りたい
 - 片付けやすい収納を充実させたい
 - 観葉植物を置きたい
 - 照明の演出にこだわりたい
- ↓ 計 個

F リビングで気になる健康・安全面は？

- 部屋の空気をきれいに保ちたい
 - 心地いい温熱環境を整えたい
 - つまづきや転倒の心配をなくしたい
 - 手足を挟みにくいドアにしたい
 - 将来も安心して過ごせるようにしたい
- ↓ 計 個

あなたのリビング関心度

チェックの合計数は、あなたのくつろぎ空間への関心度の高さを表しています。数が多いほど、現在のリビング空間と家族のくつろぎ方にギャップがあると考えられます。

合計3個以下の人
リビング関心度 Level ①



今のリビングに満足されていると思われる。現時点でくつろぎ空間に対する思いは少ないようだが、定期的に気になるところがないかなどをチェックするようにしましょう。

合計8～14個の人
リビング関心度 Level ③



今のリビングに満足している点がある反面、気になることも少なくないようです。もっと居心地の良さを高めるために、何が大切かを家族みんなで話し合ってみましょう。

合計4～7個の人
リビング関心度 Level ②



今のリビングやくつろぎ方に、ほぼ満足されているのではないだろうか。チェックを入れた項目を見直して、一層満足度の高いリビングにされることをおすすめします。

合計15個以上の人
リビング関心度 Level ④



家族とのくつろぎやリビングの心地よさを高めたという思いがとて強いようです。今のリビングにどのような工夫を加えていくか、優先順を考えて計画的に検討しましょう。

あなたのリビングニーズ

A～Fの中でどの項目にチェックが多くつきましたか。また、気になったのはどの項目ですか。あなたがリビングに求めるテーマが表れているはずです。家族それぞれのチェック結果をもとに、わが家の理想のリビングについて話し合ってみましょう。



- A … 理想のくつろぎ方
- B … 家族のつながり方
- C … リビングでの楽しみ
- D … リビングの付加機能
- E … リビングのインテリア
- F … 健康配慮、安全、安心

まさにゆるやかに、つながるというキーワードは、ひとつのリビングの中に、適度な距離感のあるパーソナルなエリアを確保することを意味するのです。限られた広さの中で、距離感やエリア感の確保は難しいと思われるかもしれませんが、家具の配置や内装の仕上げを少し工夫するだけでも実現は可能です。事例写真を参考に、ぜひわが家のリビングの居心地アップを考えてみてください。

自分時間を楽しむための工夫を盛り込もう。

2つ目のポイント「自分時間を楽しむ工夫」は、リビングの中のパーソナルな居どころをより快適に過ごせるようにするための仕掛けづくりです。

たとえば落ち着いた読書を楽しみたいと考えれば、手元を照らすスタンドや愛読書を並べる書棚が身近にあると居心地が高まりますよね。小さなティーテーブルを置けば、お茶やお酒を飲みながらゆったりとした時間が過ごせます。

趣味を満喫するには、作業しやすいスペース



LD内にスライディングスクリーンを設けて、半間仕切りの書斎コーナーを配置。開閉することで距離感を調整できます。(グランドメゾン猫洞通ヒルズ/愛知県)



リビングの窓辺にバーカウンターを設置。お気に入りの景色を眺めながら、好きなお酒をゆったりと楽しめます。(グランドメゾン京町堀タワー/大阪府)



リビングと一体感のあるバルコニーに居どころを計画。自然の風を感じながら過ごせる心地よいスペースです。(グランドメゾン東海岸南/神奈川県)



リビング脇に横になってくつろげる和室を計画。床を少し高くしてソファでくつろぐ家族と目線が合いやすくなっています。(グランドメゾン瑞穂松園町/愛知県)



映画やスポーツ観戦が大迫力で楽しめるシアターリビング。家族みんなが集いなくなる空間となるように魅力アップを図っています。(グランドメゾン住吉本町/兵庫県)

スや道具類の収納場所が肝心。まわりのインテリアも趣味性を反映した雰囲気仕上げれば、気分も高まって自分の居どころらしさが生まれます。

するためのデスク、子どもたちの勉強をみたり宿題を片付けるためのカウンターなど、リビングにくつろぎプラスαの工夫を盛り込んで多用途に活用できるようにするのがおすすめです。

家族それぞれの心地よい活動の場を設ければ、自然とリビングにみんなが集まってコミュニケーションも育まれやすくなります。一人ひとりが過ごしたくなる魅力ある部屋として、わが家のリビングを考えてみませんか。

近くに道具類などを収納できる工夫をすれば、ダイニングテーブルを趣味スペースとして活用しやすくなります。



窓横の壁が凹んだ場所を活用してカウンターを設置。リビング内にデスクワーク専用の便利なスペースを確保しています。



事務仕事や趣味など多目的に使えるリビング連続のママステーション。床の仕上げを変化させてエリア感を演出しています。



リビング内に設けたスタディコーナー。壁に向かうスタイルなので集中しやすく、横並びで勉強を教えやすいようにしています。



リビングの壁面を趣味のアトリエスペースとして活用。あえて道具類や材料などを見せ、インテリア性を高めています。

家族それぞれの居どころをつくる。

家族が自然と集まって心地よく過ごせる。そんな「ゆるやかに、つながるリビング」を実現するには、何が大切になるのでしょうか。ポイントは大まかに2つ。リビングの中で「自分の居どころづくり」と、家族の気配を感じながら「自分時間を楽しむ工夫」です。

まず「居どころづくり」を考えるには、家族みんながソファと一緒にくつろぐというオーソドックスなスタイルに捉われすぎないことが肝心です。たとえば、お父さんはお気に入りのパーソナルチェアで、お母さんはゆったりとソファで、子どもたちは床のラグの上に大きなクッションを置いて…。家族それぞれが自分の過ごしたい場所やスタイルを自由気ままに思い描くようにしましょう。

そして「居どころづくり」で配慮したいのが、パーソナルなエリア感と適度な距離感を確保することです。はっきりと区切られているわけではないけれど、なんとなく自分だけの場所といった雰囲気があることで落ち着いて過ごすことができ、近すぎず遠すぎずの間隔が保たれていることで、家族の気配が伝わる安堵感も生まれます。



リビングの一角にお気に入りのチェアを置くだけでもパーソナルな居どころを生ませます



パーソナルチェアにラグを組み合わせれば、エリア感を高めることが可能。自分だけの場所として落ち着いて過ごせます。(ステーションガーデンタワー/東京都)



収納棚によってリビングとの適度な間仕切り感を生み出したデスクスペース。趣味や仕事のしやすさを高めています。(グランドメゾン桜山スタイル/愛知県)



TVボードを活用してリビング内をエリア分けしたソファコーナーと書斎コーナー。つながりを感じながら集中しやすい空間づくりの例です。(グランドメゾン丸の内スタイル/愛知県)